

### 三、光に包まれて……

私が守護霊に言われた中に、こういう言葉があるんですね、

「神は光であり、永遠にそのお姿は見る事が出来ない。しかし絶えず神の光に包まれているのである」

——私達のいる中は、こういうふうになっているんですよ。

ですから、善にしても、悪にしても、例えば、お化けにしても、全て神の心の中にあるんですね。地獄界にしても神の光の中なんですよ。

神は、地獄なんか創ってはおりませんよ。ただ、そこにいる人達は、自分でカーテンを閉めて暗くしているだけなんですよ。

そうしたら、同じこの神の心の中にとしたら、正しい事は神なんですから、自分自身は正しい心になることが大事ですね。

自分に打ち克つこと——。そして自分が本当に、物に負けずに、欲望に負けずに、

一生を終わって行くことが大事ですね。

悪くなるのは、簡単になれるんですよ。自分で乗り越えないで、押んで貰って良くなるうとか、触ったら良くなったから、そちらに行こうというのと一緒で、誰でも楽な方に行きたい訳ですね。

しかし、人間、楽な方へ行っても、もう大方は良いものは無いということですよ。自分が、辛い、大変だ——というのが本当なんですよ。しかし、それをやらなかったら、本当の事は分からないですよ。何故生まれて来たのかでさえ分からない。

「面白い、私は本当に、なんて不幸なんだろう」と、それで何か終わったような気で死んでしまう人が多い。——そうしたら大変ですよ。

みんな一人くが明るい処へ行かなくてはいけない。そうでないと、私達はこの世の中に住めなくなるんですよ。

この教えに触れた人だけではなくて、日本人だけでもない。日本人が少し分かる事によって外国の人も、知らない間に良くなる事は当然なんですよ。心の波動というものによって、それが伝播していくんですよ。

ところが、「日本はどうかから、アメリカに行つて伝道する」という人もいる。

日本が良くならないのに、アメリカに行つて伝道しても、そんなものが通じる訳がありませんよ。

そうでしょう……自分がちゃんとしなかったら、人に通じていかないと同じですね。ところが、そうじゃないんですね、残念ながら……。そういう人が、何か知識人だとか、偉い人になっていく訳ですよ。そういうものは仕方がないですね。

高橋先生の縁に触れた人が、本当に自分というものをよく見つめ、「自分がこうやっていてるのは、こういう事で生まれて来たんだ」と、それを良く知って、それを実行していく一人くになつて戴きたいということなんです。——私はそれだけで、別にどうという事はないんですよ。

ところが、話をしても、みんなが良くならないのでは困つてしまいますよね。

それじゃ、どうも私の話の仕方が悪いのか、私の心が悪いのか、どちらかになりますけど……。 (笑) しかし、本当に実行していったら、やっただけのものは、ちゃんと自分の心に貯まつていく。その分、心は安らいでいく。

そして、自分の身体の悪い処でさえ良くなる。

皆さん、やらないで、来る度に、「身体、悪いく」と言う人は、やっていないということですよ。悪いけど、やってないんですよ。 (笑) ——いや、そんな人は、ここにはいらつしやらないですよ……。 (笑)

まあ、皆さんもね、「何か、来ないよりは来た方がピリツとしていいな」って、来るのかもしれないけどね (笑)、まあ、出来たら、やってみてください。

私もこの頃は、中々時間が無くなつてきて、四国の方からも呼ばれて、行くんですが、行つても、直ぐサヨウナラという訳にはいきませんから、まあ、三日位は掛かるんですね。

しかし四国の方はね、実はお坊さんなんです、お寺の住職。そのお坊さんは、「わたしの処では、戒名代は少ししかお金を貰いません。どんなに長い字を使つても、どんな立派な名前でも絶対に十万円以上は絶対取りません」

って仰つて、少ししか取らないんです。

ですから、檀家の方から怒られてる訳ですよ。中には、お年寄りで良い戒名を付け

て貰おうと、お金を貯めている人もいる訳ですからね。ですから私は、

「お金、取りなさいよ」

「いやあ、怒られたって要りません」

って仰るんですね。他の処では、何百万という戒名料を取る人もいるのにね。

そして、お寺の本堂を開放してね、人を集めてくるんですね。私はそこへ行って話をさせて貰うんですね、これも、これは、本当に有り難いですよねえ……。

お坊さんの中にも、そういう方がいらっしやるんですね。

私もあちこち行って話をさせて貰ってますけど、そんな特別の会場なんか無いですよ。まあ、この福岡でもそうですね、皆さんが、こうやって会場を借りて来て、ここに話を聴いてくださる方が集まって来られる訳です。

ですから私は、高橋先生の話が出来る訳ですよ。それが無かったら、全然話も出来ないですね。何も無くて行ったら、何処に行っても、「何だ、あいつ、おかしい奴が来たぞ」で終わりですよ。(笑)

ですから、そういう事に対しては、私は本当に有り難いと思っっているんですね。

わたしじゃないんですよ……ね、やっぱり基は高橋信次先生——。

高橋先生という方はね、普通に話をしていても、体からピカピカ……金が出たりする人なんです。見たことある方いらっしやると思いますよ。

人間から金が出るなんて言っても、みんな本気にしなさいですよ。

私も最初は、本気に出来ませんでしたね。実際にそれを見ても、本気に出来なかつたですね。「何処からか、口に唾えてやっているのかな……口に唾えたにしちや、何でこんな処から出て来るのかな？」って、思いましたよ。(笑)

仕事の話をしても、顔がピカピカ……光ってきたりね、そういう人なんです。終わって還られたら、我々が一寸見る事が出来ないような処にいる方なんです。そういう方が書いていった本がありますから、是非、一所懸命に読んでご覧なさい。ところが世の中というのは、いろくあって、こういう先生の事でも、いろんな事を言う人も出て来たりして、もう大変なんです。

しかし、それはそれでいいんですよ。世の中は、いろんな事で組み合わせられているんですから、それでいいんです。

私達はそういう中にいて、いろんなものを見て、学んでいる訳です。  
ですから、悪い方に染まらないうにしないではいけないことですね。  
そして少しでも、心の中が、より調和された、より豊かな心を造ろうとして、今、  
ここにいるということです。

うつせの迷う心の波こそをて  
帰る世のある我を幸せ

又人

